

漢語連体形とその周辺 —辞書記述の精密化に向けて—

庵 功雄（一橋大学国際教育交流センター）[†]

Notes on some lexico-syntactic properties of Chinese-origin words in their noun-modifying position and some related issues: Toward the elaboration of the description in dictionaries

Isao Iori (Hitotsubashi University)

要旨

本発表では、二字漢語が連体形で用いられる場合の統語的、語彙的特徴について、BCCWJのデータをもとに考察した。考察の結果、統語的位置（機能）の違いによる興味深い現象がいくつか観察された。本発表の成果は今後の日本語学習者向けの辞書記述における統語的特徴に関する記述の精緻化に貢献するものである。

1. はじめに

日本語学習者（以下、学習者）向けの辞書記述においては、意味的情報だけでなく、統語的情報も必要である。例えば、漢語が連体修飾で使われる際の最も基本的な形は（1）（2）のようなナ形容詞の連体形であるが、（3）（4）では「～な」は使えず、異なるサ変動詞の連体形を使わなければならない。こうした情報は現行の国語辞典には載っていないが、学習者が適切な日本語文を書くためには必要不可欠なものである。

- （1）ところ狭しと貴重な資料が並んでいる。（PM21_00239）
- （2）家を支えるもつとも重要な個所は基礎ですよね。（PB35_00013）
- （3）国益の面でも、日本は資源がないだけに、世界とともに繁栄する（*繁栄な）道を選ばざるを得ない。（PN4e_00010）
- （4）また全体協議では米朝間での緊迫した（*緊迫な）応酬もあったもようで初日協議では進展の予兆はまだみえていない。（PN4d_00004）

本発表では、BCCWJのデータをもとに、こうした漢語による連体修飾に関する問題を考える。なお、本発表では考察対象を二字漢語に限定する。

2. 「な」と「の」：基本的連体形

前節で見たように、漢語の連体修飾の基本はナ形容詞の連体形である「～な」だが、連体修飾一般で言えば、「～の」も重要である。

2.1 「な」：漢語連体形の基本形

「な」の頻度上位20位は表1の通りである¹。表1では、これらの名詞形として、「性」と「さ」のいずれを取るかを合わせて示している。表1の赤字はPMWが1000を越えるものである。表1から、次のことがわかる。

[†] a041115y@r.hit-u.ac.jp

¹ 検索条件は次の通りである。BCCWJ 短単位検索、キー：語種=漢、キーから1語：書字形出現形=な、キーから2語：品詞=名詞、で検索後、二字のものだけを抽出した。

- (5) 漢語ナ形容詞の名詞形は基本的には「さ」だが、「必要、可能、多様、危険」は「性」を基本とする。「重要」は「性」も「さ」も取る。

表1 「な」粗頻度上位 20 位

順位	語彙	JLPT ²	粗頻度	PMW	「性」順位	「さ」順位
1	必要	3	11822	51793.0	2	299
2	重要	2	10153	44481.0	4	17
3	可能	2	4076	17857.2	1	113
4	大切	4	3570	15640.4	—	1
5	適切	2	3472	15211.1	42	57
6	大変	4	3464	15176.0	—	10
7	奇麗	4	3091	13541.9	—	23
8	有名	4	3022	13239.6	59	126
9	十分	3	2980	13055.6	46	32
10	大事	3	2800	12267.0	—	47
11	巨大	2	2766	12118.0	—	32
12	簡単	3	2557	11202.4	—	66
13	立派	4	2469	10816.8	—	83
14	多様	1	2320	10164.1	6	45
15	特別	3	2270	9945.0	—	117
16	複雑	3	2086	9138.9	22	3
17	重大	2	2056	9007.5	25	13
18	貴重	2	1970	8630.7	56	94
19	危険	3	1815	7951.6	5	88
20	自由	3	1776	7780.8	43	18

2.2 「の」：連体修飾の基本形

2.1 ではナ形容詞による連体修飾を見たが、名詞の場合は「の」になる。表2は「の+名詞」に前接する位置で使われる名詞の上位20位を見たものだが³、この表にある名詞は装定で使われやすい名詞ということになる。ここに現れる語は、人を表す語(自分、人間、女性)、組織を表す語(会社、企業、学校)、時間を表す語(時代、現在、当時)、場所を表す語(世界、社会、地域)、順序・範囲を表す語(最初、最後、以上、以外)、副詞的な語(程度、沢山)のように、実質的な意味が乏しく、機能語的に振る舞うものが多いと言えそうである。

² JLPT は旧日本語能力試験の級で、0 は 1~4 級に属さない級外の語を表す。

³ 検索条件は次の通りである。BCCWJ 短単位検索、キー：語種=漢、キーから 1 語：書字形出現形=の、キーから 2 語：品詞=名詞、で検索後、二字のものだけを抽出した。

表2 「の」粗頻度上位 20 位

順位	語彙	JLPT	粗頻度	PMW
1	自分	4	2215	28529.8
2	以上	3	635	8179.0
3	人間	2	472	6079.5
4	時代	3	416	5358.2
5	会社	4	406	5229.4
6	以外	3	402	5177.9
7	最後	3	361	4649.8
8	最初	3	345	4443.7
9	普通	3	336	4327.8
10	企業	2	334	4302.0
11	世界	3	333	4289.1
12	女性	3	322	4147.5
13	現在	2	320	4121.7
14	地域	2	313	4031.5
15	社会	3	309	3980.0
16	学校	4	297	3825.4
16	当時	2	297	3825.4
18	生活	3	294	3786.8
19	程度	2	260	3348.9
20	沢山	2	255	3284.5

3. 「的」：形容詞的名詞

学習者にとって、漢語の連体修飾で難しいのは「的」を必要とするかである。これは、特に中国語話者において顕著である（庵 2015）。

3.1 全体的分布

まず、全体的分布は次の通りである⁴。赤字は PMW が 1000 以上のものだが、「さ」についてはそれに当たる語は存在しなかった。これは、「～性」は「…であること」(e.g. 必要性、多様性) および「～的であること」(e.g. 具体性、経済性) を表すのに対し、「…さ」は「…であること」(e.g. 大切さ、貴重さ) しか表せないためである。

表3 「的」全体粗頻度上位 20 位

順位	語彙	JLPT	粗頻度	PMW	「性」順位	「さ」順位
1	具体	2	10470	41977.7	91	—

⁴ 検索条件は次の通りである。BCCWJ 短単位検索、キー：語種＝漢、キーから 1 語：語彙素＝的、キーから 2 語：語彙素＝だ&活用形＝連体形、キーから 3 語：品詞＝名詞（「的な」の場合）、で検索後、二字のものだけを抽出した。

2	基本	2	9732	39018.8	1375	—
3	積極	2	7524	30166.2	89	243
4	一般	2	6434	25796.1	213	—
5	社会	3	5497	22039.3	21	—
6	経済	3	3718	14906.7	29	—
7	比較	2	3469	13908.4	1375	—
8	個人	2	3355	13451.3	350	—
9	効果	2	3115	12489.1	584	—
10	精神	2	3044	12204.4	69	554
11	総合	1	3043	12200.4	198	—
12	最終	2	2971	11911.7	—	—
13	政治	3	2910	11667.2	199	—
14	国際	3	2825	11326.4	133	—
15	歴史	3	2662	10672.8	158	—
16	本格	1	2558	10255.9	—	449
17	伝統	2	2242	8988.9	584	—
18	圧倒	1	1982	7946.5	1375	—
19	世界	3	1935	7758.1	373	—
20	効率	1	1863	7469.4	22	—

3.2 独立形態素か否か

「的」に関して注意を要する点に、独立形態素として使えるかということがある。

- (6) a. この問題は政治 (* ϕ /的) だ。⁵
 b. 彼が興味を持っているのは政治だ。
 c. 政治は難しい。
- (7) a. この問題は国際 (* ϕ /的) だ。
 b. *彼が興味を持っているのは国際だ。
 c. *国際は難しい。

例えば、「政治」は述語位置で「的」を必要とする場合があるが、(6b) のように「的」をとまわずに述語になったり (6c) のように助詞の前に来たりすることができる。一方、「国際」は (6b) (6c) に対応する用法を持たない。これは、「国際」が独立形態素として使えず (つまり、「語」として使えず)、形態素としてしか使えないことを示している。これは特に、中国語と比較したときに注意を要する点である。

この点を明らかにするために、「的」全体の分布に、その語彙が「助詞 (格助詞、係り助詞、副助詞)」と共に起るかを加えたものを表 4 として示す。ここで、赤字は「名詞」の用例がないか (「—」)、その PMW が 100 以下のものである。この値が低くても「サ変動詞の語幹」である可能性は残るが、「サ変動詞の語幹」でもない場合は自立語としての用法を持たないと結論することができる。

⁵ 「 ϕ 」はそこに音形を持つ要素が存在しないことを表す。

表4 「的」全体粗頻度上位20位(2)

順位	語彙	JLPT	粗頻度	PMW	「名詞」順位
1	具体	2	10470	41977.7	—
2	基本	2	9732	39018.8	542
3	積極	2	7524	30166.2	4991
4	一般	2	6434	25796.1	212
5	社会	3	5497	22039.3	18
6	経済	3	3718	14906.7	87
7	比較	2	3469	13908.4	1129
8	個人	2	3355	13451.3	360
9	効果	2	3115	12489.1	60
10	精神	2	3044	12204.4	601
11	総合	1	3043	12200.4	1861
12	最終	2	2971	11911.7	3840
13	政治	3	2910	11667.2	384
14	国際	3	2825	11326.4	2327
15	歴史	3	2662	10672.8	216
16	本格	1	2558	10255.9	—
17	伝統	2	2242	8988.9	575
18	圧倒	1	1982	7946.5	—
19	世界	3	1935	7758.1	34
20	効率	1	1863	7469.4	1369

3.3 統語的位置による違い

今回の調査で興味深い現象が見つかった。それは、統語的位置によって「～的」の現れやすさが異なるということである。本小節のみ、連体修飾以外についても考察する。

本発表では、「的」が現れる統語的環境として、次の5つを考えた。

1) 「的な」＋名詞

「経済的な問題」のように、「～的な」の形で連体修飾を行う場合

2) 「的」＋名詞

「政治的解決」のように、「～的」の形で連体修飾を行う場合で、複合語に近い

3) 「的に」

「本格的に取り組む」のように、「～的に」の形で連用修飾を行う場合

4) 「的」＋形容詞

「比較的単純な」のように、「～的」に形で連用修飾（係り先はイ形容詞、ナ形容詞）を行う場合

5) 「的だ」(「だ」は「だ、です、である」の終止用法の総計)

「～は効果的だ。」のように、「～的だ」の形で文終止を行う場合。

このうち、1)と2)、3)と4)は統語的機能が近いと考えられる。これらの分布をまとめると次のようになる。

まず、1) 2)と全体の分布と比べると、表5になる。これを見ると、1)の分布の方が「的」全体の分布に近い。これは、2)の複合語的な用法の方が専門用語的であり、そのため分布が全体のものとずれているということかもしれない。今後、レンジスターの違いなどを含めた考察が必要である。

表5 「的」全体と「的」による連体修飾・粗頻度上位20位

「的」全体	粗頻度	PMW	「的な+名詞」	粗頻度	PMW	「的+名詞」	粗頻度	PMW
具体	10470	41977.7	具体	4160	47282.9	社会	3721	61035
基本	9732	39018.8	基本	3481	39565.4	経済	1869	30656.9
積極	7524	30166.2	一般	2032	23095.9	政治	1792	29393.9
一般	6434	25796.1	積極	1764	20049.8	歴史	1521	24948.7
社会	5497	22039.3	代表	1457	16560.4	基本	1499	24587.9
経済	3718	14906.7	総合	1407	15992.1	比較	1375	22553.9
比較	3469	13908.4	本格	1393	15833	具体	1106	18141.6
個人	3355	13451.3	伝統	1373	15605.6	精神	947	15533.5
効果	3115	12489.1	国際	1336	15185.1	主義	829	13598
精神	3044	12204.4	効果	1191	13537	科学	789	12941.9
総合	3043	12200.4	個人	1137	12923.2	国際	735	12056.1
最終	2971	11911.7	典型	1023	11627.5	技術	718	11777.2
政治	2910	11667.2	精神	1005	11422.9	文化	650	10661.9
国際	2825	11326.4	社会	939	10672.8	宗教	573	9398.8
歴史	2662	10672.8	決定	823	9354.3	伝統	572	9382.4
本格	2558	10255.9	効率	799	9081.5	心理	571	9366
伝統	2242	8988.9	合理	787	8945.1	個人	529	8677.1
圧倒	1982	7946.5	経済	773	8786	積極	462	7578.1
世界	1935	7758.1	世界	754	8570	総合	446	7315.7
効率	1863	7469.4	魅力	746	8479.1	軍事	420	6889.2

次に、3) 4)と全体の分布を比較すると、表6のようになる。3)と全体の対応関係は強いが、「自動、結果、定期、一時」のように、連用修飾で使われることが多い語もあるようである。それよりも顕著なのは、4)であり、この用法はほとんど(8)のような「比較的」に限られると言ってもよさそうである。

(8) 鹿児島県の石造アーチ橋は、その架橋が他の地方にくらべ比較的遅い方である。
(LBb2_00018)

表6 「的」全体と「的」による連用修飾・粗頻度上位20位

「的」全体	粗頻度	PMW	「的に」	粗頻度	PMW	「的+形容詞」	粗頻度	PMW
具体	10470	41977.7	積極	5210	56823.8	比較	1990	775526.1
基本	9732	39018.8	具体	5163	56311.1	可及	33	12860.5
積極	7524	30166.2	基本	4742	51719.4	經濟	26	10132.5
一般	6434	25796.1	一般	3313	36133.8	行為	22	8573.7
社会	5497	22039.3	最終	2333	25445.3	戰略	18	7014.8
經濟	3718	14906.7	個人	1671	18225	文化	18	7014.8
比較	3469	13908.4	自動	1647	17963.3	潜在	16	6235.4
個人	3355	13451.3	徹底	1292	14091.4	社会	14	5456
効果	3115	12489.1	結果	1289	14058.7	政治	14	5456
精神	3044	12204.4	総合	1186	12935.3	圧倒	12	4676.5
総合	3043	12200.4	定期	1106	12062.8	技術	11	4286.8
最終	2971	11911.7	効果	1104	12041	条件	11	4286.8
政治	2910	11667.2	精神	1076	11735.6	相對	11	4286.8
国際	2825	11326.4	圧倒	1073	11702.9	主義	10	3897.1
歴史	2662	10672.8	一時	1018	11103	精神	10	3897.1
本格	2558	10255.9	經濟	979	10677.6	地域	10	3897.1
伝統	2242	8988.9	本格	956	10426.8	人間	9	3507.4
圧倒	1982	7946.5	実質	908	9903.3	歴史	8	3117.7
世界	1935	7758.1	一方	856	9336.1	形式	7	2728
効率	1863	7469.4	全国	836	9118	絶対	7	2728

最後に、5)と全体の分布を比較すると、表7のようになる。これを見ると、5)も4)程ではないものの特定の語への集中度が高い。こうした情報は読解の指導や「文型」の考察においてヒントになり得るように思われる。

表7 「的」全体と「的」の終止用法・粗頻度上位20位

「的」全体	粗頻度	PMW	「的だ」	粗頻度	PMW
具体	10470	41977.7	効果	731	117543
基本	9732	39018.8	一般	677	108859.9
積極	7524	30166.2	魅力	235	37787.4
一般	6434	25796.1	特徴	164	26370.8
社会	5497	22039.3	印象	163	26210
經濟	3718	14906.7	対照	149	23958.8
比較	3469	13908.4	合理	133	21386.1
個人	3355	13451.3	理想	130	20903.7

効果	3115	12489.1	現実	114	18330.9
精神	3044	12204.4	効率	94	15115
総合	3043	12200.4	積極	84	13507
最終	2971	11911.7	支配	72	11577.4
政治	2910	11667.2	経済	71	11416.6
国際	2825	11326.4	消極	69	11095
歴史	2662	10672.8	批判	67	10773.4
本格	2558	10255.9	否定	54	8683.1
伝統	2242	8988.9	主義	51	8200.7
圧倒	1982	7946.5	代表	48	7718.3
世界	1935	7758.1	圧倒	46	7396.7
効率	1863	7469.4	抽象	45	7235.9

4. サ変動詞

漢語の連体修飾において、もう1つ重要なのはサ変動詞である。ここでは、「する」「した」「している」「していた」の形がそれぞれ連体修飾で使われた場合の分布を見る。

4.1 全体的分布

まず、全体的分布を見る⁶。

表8 「サ変」全体粗頻度上位20位

順位	語彙	JLPT	粗頻度	PMW
1	利用	3	4326	11985.4
2	使用	2	4047	11212.4
3	規定	1	3928	10882.7
4	発生	1	3246	8993.2
5	実施	2	3175	8796.5
6	対応	1	3078	8527.8
7	存在	2	2606	7220.1
8	参加	2	2316	6416.6

⁶ 検索条件は次の通りである。BCCWJ 短単位検索、キー：語種=漢、キーから1語：語彙素=為る&活用形=連体形、キーから2語：品詞=名詞（「漢語+する」の場合）、キー：語種=漢、キーから1語：語彙素=為る、キーから2語：語彙素=た&活用形=連体形、キーから3語：品詞=名詞（「漢語+した」の場合）、キー：語種=漢、キーから1語：語彙素=為る、キーから2語：語彙素=て、キーから3語：語彙素=居る&活用形=連体形、キーから4語：品詞=名詞（「漢語+している」の場合）、キー：語種=漢、キーから1語：語彙素=為る、キーから2語：語彙素=て、キーから3語：語彙素=居る、キーから4語：語彙素=た&活用形=連体形、キーから5語：品詞=名詞（「漢語+していた」の場合）、で検索後、二字のものだけを抽出した。

9	該当	1	2163	5992.7
10	提供	1	2057	5699
11	作成	2	1990	5513.4
12	推進	1	1977	5477.4
13	確保	1	1875	5194.8
14	購入	1	1692	4687.8
15	理解	2	1656	4588
16	確認	2	1640	4543.7
17	実現	2	1616	4477.2
18	紹介	3	1582	4383
19	説明	3	1493	4136.4
20	取得	0	1447	4009

4.2 テンス・アスペクト形式ごとの分布

次に、テンス・アスペクト形式ごとの分布を見る。

表9 「サ変」全体と各テンス・アスペクト形式粗頻度上位20位

サ変全体	粗頻度	PMW	する	粗頻度	PMW	した	粗頻度	PMW	している	粗頻度	PMW	していた	粗頻度	PMW
使用	694	17304.6	規定	3693	17091.9	発生	1698	14424.4	使用	558	19013.2	存在	146	17233.2
実施	532	13265.2	利用	2509	11612.1	利用	1440	12232.7	実施	457	15571.8	勤務	120	14164.3
存在	470	11719.2	使用	2461	11390	安定	1101	9352.9	加入	328	11176.2	予定	113	13338.1
利用	416	10372.8	該当	2102	9728.5	使用	916	7781.4	存在	327	11142.2	使用	112	13220
加入	405	10098.5	実施	2077	9612.8	購入	904	7679.4	利用	325	11074	所属	96	11331.4
増加	308	7679.8	対応	2022	9358.2	作成	894	7594.5	増加	316	10767.3	支配	88	10387.2
参加	304	7580.1	存在	1877	8687.1	対応	885	7518	活動	239	8143.7	期待	86	10151.1
活動	284	7081.4	推進	1759	8141	取得	862	7322.6	保有	218	7428.1	担当	85	10033.1
所有	282	7031.5	確保	1745	8076.2	参加	794	6745	生活	211	7189.6	予想	78	9206.8
生活	281	7006.6	提供	1716	7942	独立	790	6711	所有	204	6951.1	所有	74	8734.7
予定	273	6807.1	相当	1425	6595.2	質問	749	6362.7	不足	202	6882.9	活躍	73	8616.6
保有	266	6632.6	発生	1366	6322.1	紹介	689	5853	参加	200	6814.8	心配	73	8616.6
担当	255	6358.3	実現	1301	6021.3	撮影	652	5538.7	販売	172	5860.7	滞在	72	8498.6
活躍	250	6233.6	参加	1252	5794.5	経験	630	5351.8	理解	172	5860.7	生活	71	8380.5
勤務	235	5859.6	理解	1220	5646.4	充実	616	5232.9	従事	170	5792.6	参加	70	8262.5
発生	227	5660.1	促進	1171	5419.6	実施	615	5224.4	活躍	166	5656.3	入院	70	8262.5
対応	223	5560.4	確認	1120	5183.6	成功	611	5190.4	提供	166	5656.3	想像	68	8026.4
不足	220	5485.6	維持	1043	4827.2	死亡	584	4961.1	発生	166	5656.3	居住	62	7318.2
期待	212	5286.1	希望	1028	4757.8	結婚	560	4757.2	対応	165	5622.2	用意	62	7318.2
従事	212	5286.1	作成	1024	4739.3	成立	553	4697.7	検討	164	5588.1	加入	61	7200.2

テンス・アスペクト形式は連体修飾位置では(9)に見られるように、文末と異なる振る舞いをする。

(9) a. きれいな服を着た女性

b. あの女性はきれいな服を(*着た・着ている)。

特に、「～した」のテンスを持つか否かという観点からの考察が重要になる。

5. おわりに

本発表では、二字漢語による連体修飾表現に関わる諸現象を取り上げた。今回は時間の関係で詳細に踏み込めていないものもあり、今後さらなる考察が必要となる。

謝 辞

本研究は、国立国語研究所共同利用型共同研究（C）「BCCWJ を用いた日本語統語情報・名詞コロケーション辞書作成のための基礎的研究」による成果の一部である。

文 献

庵功雄（2015）「中国語話者の母語の知識は日本語学習にどの程度役立つか—「的」を例に一」『汉日语言对比研究论丛』6、165-173

関連 URL

コーパス検索アプリケーション『中納言』

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>